

国土交通省より

- **グリーンインフラ官民連携プラットフォーム GREEN×EXPO 2027分科会が始動しました！**
2027年3月から横浜で開催されるGREEN×EXPO 2027をグリーンインフラの更なる活用推進の機会とするため、「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」の会員によって構成される、GREEN×EXPO 2027分科会が始動しました。

● GREEN×EXPO 2027 概要

位置付け

- ・ **最上位の国際園芸博覧会 (A1)**
※ A1は、我が国では1990年の国際花と緑の博覧会（大阪市）以来、37年ぶり
- ・ **国際博覧会条約に基づく国際博覧会（認定博）**
※ AIPH（国際園芸家協会）承認+BIE（博覧会国際事務局）認定

テーマ・開催意義・キーワード

- ・ テーマ：「**幸せを創る明日の風景**」
- ・ **地球課題の解決にチャレンジし、自然資本をベースとした新たなグリーン社会の姿を世界に発信**

1都3県で初の万博	主な来場ターゲット 5千万人（会場3時間圏）	公式参加目標 70カ国以上
ポストSDGsの価値発信	16のテーマ型企業出展	全国から360の花緑出展
		1千万株の花緑

正式略称：GREEN×EXPO 2027（グリーン×エクスポ ニーゼローナ）
開催場所：神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設の一部）
開催期間：2027年3月19日～9月26日（192日間）
有料来場者数：1,000万人以上
開催者：公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会（会長：筒井 義信 <経団連会長>）

事業費

会場建設費：最大417億円（国・地方・民間各1/3）
運営費：536億円（チケット等の運営収入）

入場券価格

以下に加えて、通勤バス、夏バス、夜間券などを用意
大人・1日券 5,500円（前売チケット 4,900円）
小人・1日券 1,500円（前売チケット 1,400円）※税込み

会場位置図

公式マスコットキャラクター トウンクタウンク

次の万博は、**横浜**で。

「人と地球の自然との新たな関係を育むコミュニケーション」として機運醸成に活躍

- ・宇宙からきた精霊
- ・地球がきれいだと花を咲かせて誇ります
- ・地球が汚れると元気がなくなります

詳細はこちらから ▶

2027年国際園芸博覧会
公式ホームページ

オフィシャルグッズ好評販売中
オンラインストア

● 分科会で議論されるテーマ

概要

グリーンインフラ活用推進策と**GREEN×EXPO 2027**の特徴を踏まえ、狙うべきターゲット像の整理・設定

- 例①：グリーンインフラは必要だという世論・需要を増やすことが重要ではないか？
例②：民間事業の資金提供者に投資意義を理解してもらうことが重要ではないか？
例③：きめ細やかな維持管理が出来る造園企業の供給拡大やノウハウの横展開が重要ではないか？

これらに加えて、**会場内外のグリーンインフラやステージイベント**など、グリーンインフラの活用推進に寄与する企画についてとりまとめを行い、まとめて広報等を実施していくことを想定



その他多くの施策を通じて・・・

GREEN×EXPO 2027で見た「**幸せを創る明日の風景**」をグリーンインフラを活用して全国で当たり前にする

● 5月以降のスケジュール

- ・ 第1回分科会（5/28）：分科会の立ち上げおよび活動方針、レガシー、企画案について等
- ・ 第2回分科会（6/25）：グリーンインフラの活用推進策について、企画の検討状況等
- ・ 中間とりまとめ（7月中）：企画の場所・実施主体に関するとりまとめ
- ・ 第3回分科会以降（8月以降）：グリーンインフラの活用推進策について、企画の検討状況等

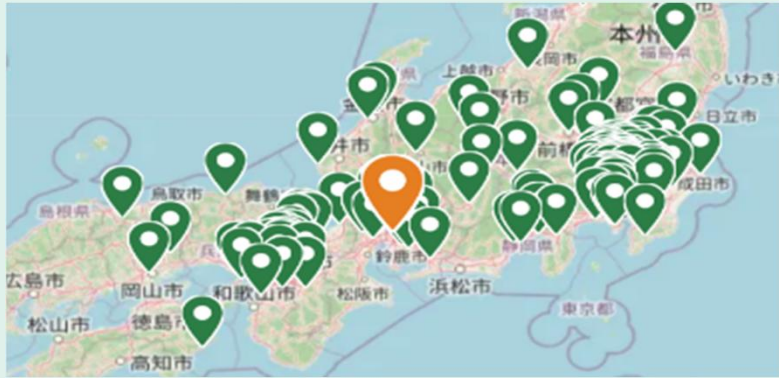
※分科会の視聴はプラットフォームの会員限定ですので、関心のある方は是非プラットフォームへの会員登録をご検討ください。
※当該分科会は、グリーンインフラの活用推進に寄与する企画の検討を進めているところ、各企画への参画に関心のある企業や自治体は、環境政策課にご連絡ください。一度お話を伺わせていただき、各企画への接続等を検討できればと思います。

グリーンインフラ官民連携プラットフォームより

■グリーンインフラ官民連携プラットフォームHPにて、グリーンインフラの事例や技術の検索システムが利用可能になりました

「グリーンインフラ事例検索システム」及び「グリーンインフラ技術検索システム」を利用することで、全国のグリーンインフラに関する事例を簡単に知ることが出来ます。

●グリーンインフラ事例検索システム



検索画面の例

- グリーンインフラ大賞受賞事例など、優れたグリーンインフラや利組事例などについて簡単に検索・閲覧できるツールです。
- 地域や適用場所（公園・庭・都市緑地など）などの条件に基づいて事例を絞り込み、計画立案や施策検討に役立つ具体的な情報を提供します。
- 現時点（R8.5.20）で、日本全国に221件の事例が掲載されています。

●グリーンインフラ技術検索システム



技術カテゴリ

こちらから利用可能です！

事例検索→【[グリーンインフラ事例検索システム](#)】

技術検索→【[グリーンインフラ技術集 | 令和7年3月版](#)】

■グリーンインフラ北海道プラットフォームが始動します！

【北海道開発局】

会員には、グリーンインフラの取組を知っていただくセミナー、現地視察や参加者相互の意見交換の場となる「グリーンインフラ北海道ミーティング」へのご案内や、情報共有が行われます。



【これまで実施されてきた取組】左から→現地視察、セミナー、意見交換会

詳細はこちら ▶▶▶ [「グリーンインフラ北海道ミーティング | 北海道開発局」](#)
(<https://www.hkd.mlit.go.jp/>)

首長インタビュー

■【特別企画】グリーンインフラトップインタビューを掲載しました

第1回 埼玉県さいたま市 清水 勇人 市長

都市と自然が共存するまちづくりの最前線——。

首都圏有数の緑の骨格を有するさいたま市では、見沼田圃をはじめとする豊かな自然資源を生かし、グリーンインフラを都市戦略の中核に据えた先進的な取組を展開しています。

環境、防災、そして市民のしあわせを見据えた緑豊かな都市の未来像について、さいたま市長 清水様にお伺いしました。



テーマ

- ・グリーンインフラへの取組のきっかけと背景
- ・特に力を入れていきたいグリーンインフラの取組
- ・取組の効果と今後の期待
- ・市長からのメッセージ

人物紹介



しみず はやと
清水 勇人 (出身:埼玉県)

現 埼玉県さいたま市長
日本大学法学部 卒業

1962年生まれ。日本大学卒、松下政経塾出身。県議を経て2009年にさいたま市長就任、現在5期目。公民連携によるグリーンインフラを推進し、見沼田圃や都市緑化を活用した脱炭素型のまちづくりに取り組む。



◆第2回グリーンインフラ大賞
「ストリートプランツプロジェクト」
(地域産植木を活用した流通型都市緑化)

👉 インタビュー内容は [コチラ](#)

「[トップインタビュー さいたま.pdf](#)」
(<https://green-infra-pdf.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/.pdf>)

【首長インタビューとは…】

グリーンインフラの全国展開に、
基礎的自治体の先駆的な取組が鍵を握ります。

本企画では、独自の指針策定や事業化に
挑む自治体の首長にインタビューを実施し、
その理念と実践を全国に発信します。

自治体間の情報共有と連携を促し、グリーン
インフラの取組を加速するネットワークの構築
を目指す**連続企画**です。

プラットフォーム専用サイトへ
<https://gi-platform.com/>

REGISTER
会員登録

はこちらから

随時会員募集！
登録無料！
団体でも
個人でも登録可！

今すぐ、
左記サイトから
登録を！！